

【別紙資料】ライトポート(千葉市教育支援センター)若葉について

1 ライトポート(千葉市教育支援センター)とは

- ◇ 千葉市教育センターでは不登校に関し、それぞれの状況に合わせて社会的自立へのサポート事業を実施。千葉市教育支援センター「ライトポート」は、小集団の体験を通して、社会性を育み、自分のペースで適応力を高めるための教室。対象は小・中学生。
- ◇ 地域に密着した支援体制の構築や学校との連携強化、児童生徒が人の目を気にせずに通級できる環境等を踏まえて設置場所を検討
→各区に1所ずつ、計6か所を小学校内に開設。

【参考：リーフレットより抜粋】

1 教育支援センターとは、何ですか？

- ◇学校に登校できないお子さんの不安や悩みについて相談活動を通して解消し、楽しく生活しようとする意欲を引き出す手助けをします。
- ◇教科の学習や体系的な活動などを通して、学習意欲を高め、集団生活へと引きこめるようにし、学校生活への復帰や社会的自立を支援します。

2 入級できる人は？

- ◇千葉市立学校に在籍する子供たちです。

3 開級している日は？

- ◇小学生 月・火・水・金曜の週4日間です。
午前10時から午後2時30分まで活動します。
- ◇中学生 月曜～金曜の週5日間です。
午前9時30分から午後3時まで活動します。
ただし水曜日は午前中のみとなります。

4 どんな活動をしますか？

- ◇自主学習
学校からの課題、ギガタプや教科書等を活用して自分のペースで学習します。
- ◇スポーツ
友達と関わり合い、楽しく体を動かします。
- ◇創作・体験活動
工作や調理、栽培など、さまざまな活動を通して好きな時間を過ごします。
- ◇悩みや心遣いなどの相談
勉強や友達、自分のこと…、どんな悩みごとでも気軽に相談ができます。

よくある ご質問

- ◇教育支援センターには年度の途中でも、入級できます。
- ◇給食はありません。お弁当を持参してください。
- ◇中学生は一人で登下校できます。
- ◇小学生は原則として保護者の送迎をお願いしています。

5 見学や入級の手続きは？

予約

在籍する学校へ相談してください。
学校を通じて、教育支援センターの見学、または入級面談の予約をします。

入級面談

見学後、本人と教育支援センターにて、入級を前提とした面談を実施します。(保護者の方も一緒に面談を受けていただきます。)

申し込み

入級面談後、お子さんとご相談ください。「通級したい」という気持ちが固まりましたら、学校へ申請書を提出します。(申請書は学校にあります。)

通級開始

教育支援センターで指導員が皆さんをやさしくお迎えします。10日間の試行通級を行い、その後正式入級となります。

見学

施設や活動の様子を見学し、教育支援センターがどんなところなのかをご案内します。

設置校

花見川区：朝日ヶ丘小学校
若葉区：若松台小学校
中央区：大森小学校
美浜区：真砂西小学校
緑区：土気小学校
稲毛区：千草台東小学校

LP 若葉の利用状況

中学生 25人

小学生 12人

※若松台小学校在籍児童の利用者は R7.10 現在 0人

教育支援センターの一日 小学生の一例

時間	活動
10:00～10:15	朝の会
10:15～10:45	学習タイム①
11:00～11:30	学習タイム②
11:30～12:10	昼食・清掃
12:10～12:40	スポーツタイム
13:00～14:00	グループ活動
14:00～14:15	帰りの会
～14:30	下校

2 今後の見通し及び検討を要する事項

- ◇ 若松台小学校に係る、学校適正規模・適正配置の検討に際しては、若松台小学校に本市不登校対策の重要な事業の一つであるライトポート若葉が設置されていることを踏まえ、若松台小等関係校児童だけでなく、ライトポート若葉を利用している児童・生徒も含めた、総合的な検討が必要である。
- ◇ 具体的には、各区に一つ、小学校内に設置されていることを踏まえ、次の検討が必要である。

- ・適正規模・適正配置に係る「開校場所・開校年度」の検討に際し、ライトポート若葉に係る、移転要否、移転可否、スケジュール 及び 関連予算の確保等も含めた総合的な検討
- ・ライトポートに係る児童・生徒・保護者等への説明
- ・設置校や関係校、若葉区内に居住する児童・生徒の保護者等への周知 等